

みなみあいづ 議会だより

第73号

令和6年8月7日



みんなで楽しく田植え体験

P 2～3 第2回定例会 議案審議など

P 4～16 一般質問・町政を問う

P 17 第2回臨時会

P 18～19 議員大会・広報委員会活動報告・DX推進委員会設立など

P 20 はばたけ！南会津の子どもたち

→ 20 分で紹介

写真 ©2024 田島第二小学校

令和6年6月14日～6月21日

全議案を可決しました。

令和6年第2回定例会が開催され、提出された議案・報告合わせて21件を可決・同意しました。（掲載の質問と答弁は抽出・要約したものです。）

議案第69号

南会津町防災会議条例の一部を改正する条例

丸山陽子議員

町長の説明では女性を登用することでも重要であります。あつたが、新旧対照表には女性という表記が無いのはなぜか。

住民生活課長

女性の方の意見はとも重要であります。で参画を想定はしていますが、特に町長が必要と認め任命するという表記にしました。

議案第71号～議案第81号

農業委員会委員の任命について

農業委員会委員の選出が行われました。町長から、11人の任命案がそれぞれ提出され審議の結果、全会一致で同意されました。

【農業委員会委員】

- | | |
|------------|------------|
| 星 洋一氏（本町） | 湯田 義三氏（永田） |
| 湯田 孝義氏（田部） | 湯田 重行氏（高野） |
| 室井 文一氏（川島） | 渡部 和幸氏（関本） |
| 星 隆一氏（森戸） | 芳賀 美紀氏（福渡） |
| 岡本 寛司氏（古町） | 宗像美由紀氏（山口） |
| 酒井 圭氏（鶴巣） | |

高野精一議員

審議委員会の構成メンバーは。

農林課長

委員候補者評価委員会というものを定めており、メンバーは総務課長、館岩・伊南・南郷総合支所長、農業委員会議務局長、農林課長の6名です。

報告第3号

民生費 繰越明許費繰越計算書の報告について（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業）

楠正次議員

対象世帯と支給率は転入者も含めてどれくらいか。

住民生活課長

対象世帯は全部で401世帯で、給付した世帯は397世帯です。99.9%の支給率です。未申請世帯が4は100%です。

土木費 繰越明許費繰越計算書の報告について（道路橋梁費・社会資本整備総合交付金事業）

楠正次議員

1億1069万7千円の事業費に対して2150万9千円の繰越金があるがなぜか。

建設課長

入札不調による工事内容の見直しなどによる測の日数を要したためです。

報告第4号

本支出 水道事業会計予算繰越計算書の報告について（生活基盤施設耐震化等交付金事業）

楠正次議員

予算計上額 1億2480万円全額繰越されているが。

環境水道課長

国庫補助金の前倒し交付による繰越です。

報告第5号

本支出 下水道事業会計予算繰越計算書の報告について（特定環境保全公共下水道設備改修事業）

楠正次議員

予算計上額935万円全額繰越されているが。

環境水道課長

世界的な半導体不足により資機材が工期内に納品できないことによる繰越です。

議案第82号

民生費 一般会計補正予算（社会福祉総務費・価格高騰緊急支援給付金）

住民生活課長

対象者は、個人住民税の均等割が非課税になった世帯と、所得割が課税されない世帯と説明を受けました。均等割から非課税になり所得割が課税されなかった原因は、この給付金は非課税世帯と均等割のみ課税世帯に給付されます。所得の算定につきましては前年の実績に基づいて課税されます。

教育費 一般会計補正予算（文化財保護費・指定文化財等管理費補助金）

渡部裕太議員

補正額232万円は、どの大屋台のどの部分の修繕か。

生涯学習課長

上大屋台における破風装飾部の修繕費です。

民生費 一般会計補正予算（社会福祉総務費・価格高騰緊急支援給付金）

楠正次議員

非課税世帯の対象戸数は。

住民生活課長

非課税世帯が365世帯、均等割のみ課税世帯が285世帯、転入世帯が12世帯の合わせて662世帯です。

国庫支出金 一般会計補正予算（総務費国庫補助金・デジタル田園都市国家構想交付金）

古川晃議員

デジタル田園都市国家構想給付金（追加）364万円はどこにあたるか。

総務課長

当初予算の後に国からの交付が決定された事業が二つあり、一つ

が「電子入札電子契約システム導入」事業に289万円、もう一つが「八十里越広域観光X圏創生プロジェクト」事業に75万円の合わせて364万円が当初予算編成後に認められました。

総務費 一般会計補正予算（財産管理費・石造建築物雪害修繕工事請負費）

室井英雄議員

この雪害を確認した時期と破損箇所はどこか。

総務課長

今年の春に、屋根の雨どいが落ちていたとの情報があり確認しました。工費は190万円です。

文教厚生委員会提出議案

国へ意見書を提出

採択 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

東日本大震災から13年が経過し、「被災児童生徒就学支援等事業」は、被災した子どもたちが学校で学ぶための有効な支援事業として機能しています。

福島県では、令和5年4月時点で約3700人もの子どもたちが県内外で避難生活を送っています。経済的な支援を必要とする子どもたちは多く、子どもたちの就学・修学のためには、長期的な支援がなくてはなりません。学校現場からも事業の継続を強く望む声が届いています。

福島の復興・再生に向けて手厚い支援が実施されていますが、引き続き「被災児童生徒就学支援等事業」による就学支援が必要です。よって、令和7年度においても本事業を継続し、必

要な財政措置を行い、被災した子どもたちに継続した就学支援を実施することを求める意見書を提出するものです。（一部抜粋）

国へ意見書を提出

採択 国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」

全国で学校給食費無償化が大きな流れになっています。福島県においても約95%の自治体は何らかの形で学校給食費の負担軽減措置をとっています。これは、学校納付金のなかで大きな割合を占める給食費の負担軽減を求める要求が切実であることを反映していると考えられます。現在は、学校給食費無償化は各自治体の努力によって行われていますが、本来は国が行うべきものであるといえます。市町村の財政上の理由から、居住地によって保護者の給食費負担が大きく異なるという問題が生じています。よって、国による学校給食費無償化を実現させるため意見書を提出するものです。（一部抜粋）

県へ意見書を提出

採択 県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」

国に対して提出する意見書と同趣旨ですが、国に学校給食費無償化を促すためにも、県としての積極的な施策が必要です。よって県による学校給食費の無償化を実現させるための意見書を提出するものです。（一部抜粋）

町政を問う

一般質問

12人の議員が登壇

登壇順序・質問項目

① 楠 正次 議員・・・5分

1. 教育長の所信と見解
2. 西部地域の保健師配置
3. 間伐材の利活用策

② 酒井 幸司 議員・・・6分

1. 国道401号整備促進新鳥居峠トンネル化
工事の進捗状況は
2. (株)みなみあいづ経営改善計画は

③ 渡部 訓正 議員・・・7分

1. 経営改善計画の実行性は
2. 南会津町観光施設評価業務報告の実行性は
3. 住宅の耐震基準の強化・支援策は

【質問事項のみ表示】

④ 芳賀 正義 議員・・・8分

1. 若者定着と職場の確保
2. 緊急時の防災無線の放送の在り方
3. 郷土芸能と文化活動の支援

⑤ 丸山 陽子 議員・・・9分

1. 帯状疱疹ワクチンの接種費用支援
2. 防犯対策品の購入・設置費用の支援
3. 来庁者への環境整備

⑥ 室井 英雄 議員・・・10分

1. 消防団員の準中型免許の取得に関する支援は
2. 地域商業環境づくり支援事業の内容は
3. びわのかげプールの改修は 【質問事項のみ表示】

⑦ 星 和孝 議員・・・11分

1. 学校教育の方向性は
2. 入湯税の用途は 【質問事項のみ表示】
3. 令和6年第2回全員協議会で示された指定管理
施設の所在地は 【質問事項のみ表示】

⑧ 湯田 哲 議員・・・12分

1. 町民の安心安全を守るために防災無線子局マスト
に防犯カメラの設置は
2. 分散から寄り添い助け合い生活できるコンパクトな町の実現は
3. 学校教育へのAI導入が進む中、本町の対応は
【質問事項のみ表示】

⑨ 湯田 芳博 議員・・・13分

1. 令和4年度、会津高原たかつえスキー場に配備
された圧雪車に関する入札には高い競争性と公平性に
欠けた官製談合を疑わざるを得ないこと
2. 南会津地方環境衛生組合と同地方広域市町村圏
組合の統合に関すること
3. 中山間地域における米作り農業の将来見通しと
農地の所有形態や管理のあるべき政策展開のこと

⑩ 古川 晃 議員・・・14分

1. 西部地区の教育の機会確保と若者定着対策は
2. 田島地域中心市街地活性化に必要なことは

⑪ 渡部 裕太 議員・・・15分

1. 「会津田島祇園祭」の存続へ町の支援は
2. 「公共施設等総合管理計画」に基づく実効性のある
施策は
3. 消防団員への準中型免許取得補助に対する町の
考えは

⑫ 森 秀一 議員・・・16分

1. 栃木西部・会津南道路の状況は

【一般質問とは】

町の行財政全般について議員が提言を含めて町に考えを聞くことです。

※一般質問は、スマートフォンなどで右のQRコード（町議会中継【YouTube】）を読み取りご覧ください。



南会津町議会中継
【YouTube】



議員 正次 楠くすのき まさつぐ

どのように児童生徒の成長を願うのか

教育長⇩体験活動とICTを

バランスよく組み合わせる

問

現在ではeラーニング

など多様な学習システムがあり、いつでもどこでも個々に合わせた学習ができます。オンラインで学び知識を得ることは可能ですが、児童・生徒が協調性や思いやりの心、また我慢するといった忍耐力など、感情をコントロールする力を身に付けるには、不足する部分があると考えますが見解は。

教育長

児童・生徒が協調性や思いやりの心を育むには、豊かな自然体験や、伝統文化に触れる活動など、五感を通して感性を養うことが大切です。体験活動とICTを活用した学習をバランスよく組み合わせ社会を生き抜く力を養っていきます。

用語

※「ICT」とは情報や通信に関する技術の総称のこと。

保健師を伊南支所に統合配置の理由は

町長⇩住民福祉の向上につながると判断

問

保健師の職務は住民の健康

な暮らしを支える重要なものと考えます。今年度から配置されない館岩・南郷の地域住民に影響は。

町長

現在の保健師の業務は個別訪問や個別指導で町民一人ひとりに寄り添った対応をしています。統合で個別訪問や個別指導が減ることがないよう、これまで以上に本庁との連携を強化し業務に取り組みむので地域住民に影響はないと考えます。

町村合併時から現在までの人口・世帯動態

旧村名	平成18年4月1日人口	令和6年6月1日人口	減少率
館 岩	2, 275人 (797世帯)	1, 323人 (648世帯)	△41.8% (△18.7%)
伊 南	1, 875人 (668世帯)	1, 114人 (535世帯)	△40.6% (△19.9%)
南 郷	2, 971人 (999世帯)	1, 814人 (840世帯)	△38.9% (△15.9%)
合 計	7, 121人 (2464世帯)	4, 251人 (2023世帯)	△40.3% (△17.9%)

間伐材で凍霜被害対策の可能性を

町長⇩トーチを用いることも方策の一つと考える

問

杉の間伐材でスウェーデン

型トーチを作製して燃焼実験をしました。キャンプなどで使用する着火剤と、杉の葉で簡単に着火しました。直径24センチ長さ70センチのトーチで約4時間燃焼し続けました。4時間熱を発し続けることで、農作物の凍霜被害防止に利用できるのでは。

町長

トーチを用いた凍霜被害防止は、方策の一つと考えますが、果樹などに延焼の危険性もあり、慎重に実施する必要があります。



トーチの燃焼実験の様子



さかい こうし 議員
酒井 幸司

**国道401号新鳥居峠トンネル化
工事の進捗状況は**

町長 ↓ 整備計画の策定に必要な
基礎調査を進めている

問 現在の進捗状況は。

町長 福島県から、航空測量や土地の権利者調査などを実施し、引き続き計画ルートを検討しながら、整備計画の策定に必要な基礎調査を進めていくとの回答を頂いています。

問 現在の活動状況は。

町長 国道401号は、会津若松市から群馬県沼田市を結ぶ一般国道であり、本町をはじめ12の市町村で構成される「国道401号改良整備促進期成同盟会」として国や県に対し、要望活動を行っております。

問 これからの活動計画は。

町長 7月には、国に対する要望活動、10月には当該路線の現地踏査、11月には福島県に対する要望活動を予定しており、早期着工に向けた要望活動を進めていきます。



新鳥居峠トンネル化 看板

（株）みなみあいづ経営改善計画は

町長 ↓ 地域への影響を総合的に判断

問 町が委託した企業診断の結果、たかつえスキー場だけが継続なわけは。

町長 中長期的な視点に立った投資対効果などの経済合理性に基づく判断を前提とし、本町の人口動態や町内総生産の動向、財政動向、観光動向などのマクロ的な分析も行ったうえでの評価であると認識しております。収容能力、集客による地域への貢献など、地域経済への影響の大きさなどを総合的に判断した結果であると受け止めています。

問 たかつえスキー場の従業員の仕事から支出しているのはなぜか。

町長 アストリアホテルに勤務している従業員も利用しており、按分が困難なためとのことです。

問 廃止になった場合の冬場の働き先は。

町長 仮に廃止になつた場合、他のスキー場での勤務や除雪を請負う建設業や団体への就業などが考えられますが、現在のところ移住者の希望もあるため一概に断定できません。



たかつえスキー場



わたなべ 渡部 くにまさ 訓正 議員

（株）みなみあいづの経営改善計画の実行性は

町長 ↓ 実現性を高めるため毎月進捗を管理

問

経営改善計画は、会社が指定管理を受けている施設ごとに作成したものと違うが、事前に目標数値などの相談は。

町長

この計画は、（株）みなみあいづが自立した会社として存続するために、黒字化を目指し作成したものです。

昨年12月に計画案ができ、担当課と会社で数値などの考え方を意見交換しています。

問

赤字になっている施設は、今回の計画では3年後以降事業収支が空欄になっっています。町は具体的な協議をしたか。

町長

管理運営に関する協定書を締結し、管理業務の継続が困難となった場合は、町に報告し、町の指示に従うものとされています。本年6月10日付で会社から協議書が提出されたので、今後、協議をします。

問

施設には多くの方が働いていますが、雇用維持についてはどのように考えているか。

町長

雇用の維持や働く場の確保は重要と認識しています。令和7年度以降数字が入っていない施設を、即廃止と決定したものではありません。会社と協議を重ねるとともに、さまざまな角度から考察し、方針を決定します。



株式会社みなみあいづ

※ 町観光施設評価業務報告の活用は

町長 ↓ 町が方針を決定する判断材料

問

町では、評価業務委託報告書をどのように活用する考えか。

町長

委託報告書は、町の方針を決定するための判断材料の一つとして活用します。

用語

※ 「町観光施設評価」とは

町有観光16施設の指定管理期間が令和7年度末（令和8年3月31日）で終了することから、令和8年度からの新たな指定管理者を公募するにあたり、町の方針などを決定する際の判断材料のひとつとするため、令和5年度に一般社団法人福島県中小企業診断協会に委託して、町有観光施設の客観的な評価を実施しました。今後は、地域経済への影響や働く場の確保などを総合的に勘案し、町の方針などが決定されます。

その他の質問

・住宅の耐震基準の強化と支援策は



議員 正義まさよし 芳賀はが

若者定着と職場の確保は

町長 ↓ ドローンの実証試験で企業連携と誘致を

問

工場誘致の見通しと誘致活動の成果は。

町長

機会あるたびに誘致活動を進めています。特に県からのドローンの実証試験を活かした地元企業との連携と、新たな産業に向け誘致活動を進めます。

問

既存企業と行政との「共創」で積極的支援を。

町長

喫緊の課題と強く認識し、これらの課題解決には、企業と行政の「共創」は有効手段の一つと考えます。企業との情報共有や意見交換でニーズを的確に捉え、より効果的に支援を講じていきます。

緊急時の防災無線放送のあり方は

町長 ↓ 緊急放送の確実なシステムを強化

問

緊急放送の早くて確実なシステムづくりは。

町長

緊急時の放送がスムーズに実施出来るよう、システムを強化していきます。

問

音声合成放送の一部を「生声」の放送にする考えは。

町長

緊急時以外の放送は、職員が特定されるなどの問題もあり、引き続き現在の放送で実施していきます。

郷土芸能と文化活動の支援は

教育長 ↓ 有効な支援策を検討

問

伝統芸能継承調査と支援の見直しは。

教育長

教育委員会では、関係する団体の意見交換会で実態と情報の把握に努めています。よりきめ細かな支援を行うため、有効な支援策を検討していきます。

問

文化活動の積極的支援は。

教育長

文化協会加盟団体数と会員数は減少傾向にあります。活動支援として関係する補助金の利用と、活動成果の発表の場を設けるなど、文化活動の維持拡大に向け、支援および育成を進めていきます。

雇用対策協議会のなかで、さらに議論すべきとの提言もあり、より地域の雇用情勢に適した対策と若者の多様な職種や働き方を選択できるよう、協議会の組織体制の拡充を図っていきます。

町長

雇用対策協議会のなかで、さらに議論すべきとの提言もあり、より地域の雇用情勢に適した対策と若者の多様な職種や働き方を選択できるよう、協議会の組織体制の拡充を図っていきます。

問

企業、ハローワーク、行政一体の活動強化は。

町長

雇用対策協議会のなかで、さらに議論すべきとの提言もあり、より地域の雇用情勢に適した対策と若者の多様な職種や働き方を選択できるよう、協議会の組織体制の拡充を図っていきます。



第47回田島文化祭芸能発表

昨年行われた第47回田島文化祭芸能発表



まるやま ようこ 議員

带状疱疹ワクチンの接種費用支援

町長 ↓ 助成をする考えはない

問 带状疱疹ワクチンの接種支援としては。

町長 任意接種である带状疱疹ワクチンの接種費用の助成をする考えはありません。

しかし、実施の必要性について引き続き情報を収集しながら判断していきます。



車いす・手押し型歩行車

南会津町役場正面玄関に設置してあります。ご利用ください。

防犯対策品の購入・設置費用の支援

町長 ↓ 費用の支援は考えていない

問 防犯カメラやモニター付きインターホンなど自宅への防犯対策品の購入・設置費用などの支援としては。

町長 自宅への防犯対策品の購入・設置費用の支援は考えていません。

防犯カメラの設置については、設置場所を含め、南会津警察署など関係機関との連携を図るとともに、他自治体の事例を調査しながら、検討していきます。

来庁者への環境整備

町長 ↓ サービス向上に努める

問 日常生活の中で「聞こえ」に不安を感じている方が安心して窓口で対応できるよう「集音器付き軟骨伝導イヤホン」を配備する考えは。

町長 ゆっくり大きな声で対応すること、プライバシーへの配慮が必要な内容は筆談で対応するなど、お客様の状況に応じた対応に努めています。

不安があることを隠されている方に対しては、これまでのような対応では十分な説明ができないことも想定されるため、配備している自治体の状況を調査するとともに、窓口における利用ニーズの把握に努めます。

問 歩行に不安のある方が安心して庁舎内を歩行できるように、シルバーカーを配備する考えは。

町長 車いすと手押し型の歩行車をそれぞれ2台配備し、希望に応じて貸し出しをしています。今後、案内表示や配備箇所を工夫しながら、利用希望者に対するサービス向上に努めます。



ひろお ひでお 議員
室井 英雄

地域商業環境づくり
支援事業の内容は

町長 ↓ さらなる商業の情報発信につなげる

官民連携ま
ちなか再生
推進事業との連携は。

問

事業実施主
体と総事業
費は。

問

補助対象区分
の選択と、そ
の内容と実施方法は。

町長

今回、作
成する観
光QRガイドは、飲食
店やお土産店、見ど
ろ、おすすめのまち歩
きルートなどを盛り込
んだ内容になっていま
す。周遊イベントなど
と連携を図りながら、
さらなる商業の情報発
信につなげていきま
す。

消防団員の準中型免許
取得に関する支援は

町長 ↓ 課題も多く引き続き検討

問

以前この件に
ついて質問を
行った際、制度化に向
けて調査、予算の対応
を今後検討するとの内
容でした。調査された
内容と制度化に至らな
かった理由は。

議を行い、免許取得に
おける公平性や補助内
容の調整、財源の問題
など、課題も多くある
ため現在のところ制度
化に至っていません。
今後は、対象となる
団員に対して意向調査
を実施し、支援のあり
方について引き続き検
討します。

町長

事業実施主
体は南会津
町で、令和6年度の事
業費は300万円で補
助率は2分の1です。

町長

DXを活用
した情報発
信が主な内容となるた
め「DX活用コース」
を申請し、採択を受け
ました。

事業内容は中心市街
地の各店舗などの情報
発信を強化するととも
に、まちなかの周遊性
を高めるため、まち歩
きルートや見どころな
どを盛り込んだデジタ
ル見どころマップを作
成します。

町長

昨年度、
消防団員
576人を対象に自動
車免許取得状況調査を
行った結果、準中型免
許取得補助の対象とな
る団員は27名でした。
制度化については協



ポンプ付積載車

実施にあたっては、
おすすめのみち歩き
ルートなどを盛り込ん
だ観光QRガイドを作
成する計画です。



町内の様子 (田島)

その他の質問

・びわのかげプールの改修は



ほし 議員
星 和孝

学校教育の方向性は

教育長⇩郷土に誇りを持ち

たくましく生きる子どもの育成

問

教育長が描く
南会津町の学
校教育の指針は。

教育長

「子供達の
笑顔あふれ
る楽しい学校」が私の
理想とする学校像で
す。子供達を取り巻く

環境は、少子化、人口
減少問題など、大変厳
しいものがあります。
不確実な社会を生き抜
いていくためには、し
なやかな感性や洞察力
を身に付ける必要があ
ると考えます。次世代

を担う人材を育成する
観点から次の三点を推
進していきたいと考え
ます。

一つ目、「自ら考え、
学び続ける子供の育
成」。少人数学級の良
さを生かした授業の充
実や、主体的・対話的
で深い学びを一層充実
させた授業を展開する
ことにより、自ら考え、
学び続ける子供の育成

を目指します。日々の
授業の充実を図るため
の教職員研修の充実
や、特別な支援を要す
る児童生徒への支援な
どに努めます。

二つ目、「体験と交
流を通じた郷土愛の醸
成」。開かれた学校」
を目指し、豊かな自然
の中での体験活動や、
伝統文化に触れる活動
など、地域の教育資源
を活用した教育活動を
展開します。地域の人
との関わりを深め、郷
土に誇りと希望を持つ
た児童生徒の育成に努
めます。

三つ目、「外国語教
育、ICT教育、人権
教育の充実」。国際化
など、今日的課題に対
応できる児童生徒を育
成します。外国語教育
では、英語専科教員に
よる授業や*ALITの
活用に努めます。ICT
教育では、タブレット

ト端末のより効果的な
活用を行い、*情報リ
テラシーを高めます。
人権教育では、道徳教
育の充実などに努め、
相手の心の痛みが分か
るような、他人を思い
やり、人権を尊重する
心の育成に努めます。



農業体験学習（田島第二小学校）

豊かな自然環境を生かして地元
基幹産業の農業を学ぶ

用語

*「ALIT」とは
外国語を母国語とする外国語指導助手のこ
と。

*「情報リテラシー」とは
さまざまな情報を適切に活用できる基礎能
力のこと。

その他の質問

- ・入湯税の用途は
- ・全員協議会で示された指定管理施設の現在地は



湯田 哲 議員

**防災無線子局マストには
防犯カメラ設置は**

町長 ↓ マストが適しているか課題がある

問

町ホームページでは、5月14日未明に発生した強盗事件により、注意喚起を呼びかけています。

防犯カメラは犯罪抑止に有効ですが、設置に大きな予算が必要です。そこで防災無線子局マストに防犯カメラを設置し、そのインターネット環境は、マスト近くの住民のWi-Fi環境の協力により大幅な費用削減が可能です。防犯効果のあ

る順にカメラを増やしていくことで、実現可能と考えますが。

町長

防犯カメラは、犯罪抑止に大きな効果があり、地域住民の安心感が高まり、事件事故などの解決にも有効な手段であると考えます。

マストへのカメラ設置は、経費面から検討に値する手段ですが、住民のWi-Fi環境の利用や、マストがカメラ設置場所として適してい

るかなどの課題もあります。



防災無線子局マスト

コンパクトな町の実現は

町長 ↓ 点在する集落と商業施設との

交通網充実を図る

問

本町の人口減少が止まりません。一人暮らし世帯が増える中、現在の分散した住宅の状況から、住民の町内での移住により、寄り添い助け合い生活できるコンパクトな町を実現する必要がありますと考えます。

町長

住まいや公共サービス、商業施設などの生活機能を集約し効率化を図ることは、町財政負担軽減のメリットは大きいと認識しています。しかし、集約は強制できるものではありません。将来的に集約するエリアができれば、誘導という形で時間をかけて集約化を推進することも思われます。コンパクトな町の実現は考えておりませんが、広く点在する集落と、商業施設

などの立地エリアをつなぐ公共交通網の充実を図っていきます。

会津田島駅から2km圏内で住宅に利用可能な町有地

	場所	備考	面積 (㎡)
1	後原地内	旧町営住宅跡地	約1,405㎡
2	観音寺地内	単独住宅跡地	854㎡
3	北下原地内	特別養護老人ホーム隣接地	約1,196㎡
4	田部原地内	住宅地	710㎡
		合計	約4,165㎡

その他の質問

・ 学校教育へのAI導入が進む中、本町の対応は



湯田 芳博 議員

圧雪車に関する委員会の 会議録がないのは

町長 ↓ 議会事務局から資料の提供を
受けることができなかった

問

令和6年3
月定例議会
の質問に対する答弁に
よると、令和4年3月
15日に開催された総務
委員会の会議録がない
とのことですが、議会
事務局が委員会の経
緯を記録していなかっ
たということか。

町長

議会事務
局に確認
したところ、会議録は
「総務委員長から議長
に報告するもので、執

焼却処分している ゴミの有機資源化は

町長 ↓ 他の自治体と協議し判断すべき事項

問

南会津地方環
境衛生組合が
行なっている、ごみ焼
却及び焼却灰の処分に
掛かる経費を有機資源
化への投資に切り替え
る考えは。

町長

生ごみを単
独で分別収
集する必要があ
るなど、本町だけでは
他の自治体にも影響を
及ぼすので、衛生組
合において協議し判断
すべき事項と考えま
す。

田んぼの規模拡大に 伴う将来課題は

町長 ↓ 水田の効率的利用のため
規模拡大を進める

問

田んぼの区画
規模が拡大す
ることに伴う、将来課
題は把握しているか。

町長

地域の継続
的な担い手
の育成、労働生産性向
上や、水田の効率的土
地利用などの効果が期
待できるので規模拡大
を進めていきます。

町長

衛生組合
構成町村
の首長と共有したも
の、具体的な協議は
していません。



ほじょう
圃場整備予定地区 (田島荒海地区)



ふるかわ あきら 議員
古川 晃

西部地区の教育の機会確保は

町長 ↓ 安全安心に通学できる環境を支援

問

西部地区の高校がなく、子育て世代の不安にどのように応える考えか。

町長

高校生が新南会津高校に通学できるように、館岩地域からのスクールタクシー、南郷地域からの生徒送迎車の運行を支援しています。理解は着実に広がり、不安が少しずつ解消されていくと考えます。

問

高校教育を受ける場と機会の確保、若者定着のための町の考えは。

町長

高校教育を受ける場と機会は確保されています。若者定着のために、結婚、出産、子育て、仕事、生活環境、教育環境などの取り組みを連動させることが必要と考えます。



南会津高校南郷校舎

校舎跡地利用検討委員会が組織され、検討を進めている。地域振興の核になれるよう動向が注目される。

田島地域中心市街地活性化は

町長 ↓ 将来像を明確にした

未来ビジョンを策定

問

これまで、いくつかのまちなか活性化計画策定を繰り返してきた要因は何か。

町長

実施主体についての議論が不十分で計画に実行性がなかったことと考えています。現在実施している「官民連携まちなか再生推進事業」では「田島まちなかエリアプラットフォーム」による社会実験などをしながら未来ビジョンを策定していきます。

問

エリアプラットフォームフォームには人材育成と財源確保が必要だが、どのように担保していく考えか。

町長

実務面で伴走支援を行いながら、人材育成をサポートしたいと考えています。財源は、「中心市街地賑わいづくり事業補助金」により支援を行っています。

問

後継者不足と空き店舗問題の解決はどのように考えているか。

町長

「ビジネスチャレンジ」による事業継承支援、「まちなか空き店舗等利活用事業」による空き店舗の利活用など、町商工会と連携を図り対策を講じています。

田島地区まちなか活性化のためのビジョン・事業等策定の経過

年度	事業計画
平成19	南会津町田島まちなか再生事業実施計画(田島商工会)
平成28	南会津町田島地区中心市街地活性化ビジョン
平成29	南会津町田島地区触れ合いまちなか活性化事業
令和4	田島地域中心市街地まちなか再生計画
令和5	官民連携まちなか再生推進事業



わたなべ ゆうた 議員
渡部 裕太

「会津田島祇園祭」の持続への支援は

町長 ↓ 出来る範囲での支援について検討

問 現状の課題をどのよう
に認識しているか。

町長 少子高齢化による担い手不足が大きな課題の一つであり、会津田島祇園祭の存続に関わる地域全体の課題でもありと認識しています。



問 今後の町としての関わり方、支援のあり方はどのように考えているか。

町長 政教分離という視点や宗教行事への公費支出の制限などにも注意しながら、運営に関わる各団体からの要請に応じることや、課題の把握や今後の対応策など、行政側としてできる範囲での支援について検討すべきと考えます。

「公共施設等総合管理計画」に基づく実効性のある施策は

町長 ↓ 施策の有効活用や譲渡可能な施設の処分を進めていく

問 公共施設の削減に向け、財政負担のない譲渡（有償、無償）を積極的に進めていく考えは。



公共施設等総合管理計画 個別施設計画 第1期

町長 人口減少社会の中で、公共施設を適正に維持できる施設規模に縮減していくには大きな予算が必要になることが見込まれるため、「譲渡」による公共施設の削減は有効な手段であると認識しています。現在も、町のHPにおいて、公共施設の譲渡について呼びかけを行っているところではありますが、先進的な事例も調査しながら、施設の有効活用や譲渡可能な施設の処分を進めていきたいと考えています。

消防団員への準中型免許取得補助は

町長 ↓ 必要な取組であると認識

問 地域防災力強化の観点から、消防車両（ポンプ自動車）を運転できない団員の解消に向けた取組の優先度をどのように認識しているか。

町長 本来、団員車両を運転でき、有事の際には現場へ駆けつけることが望ましいため、消防車両を運転できない団員の解消については、町として必要な取組であると認識しています。対象となる団員に対して意向調査を実施するとともに、支援の在り方について引き続き検討していきます。



もり しゅういち 議員 森 秀一

栃木西部・会津南道路の状況は

町長 ↓ 整備促進期成同盟会を設立して活動を加速

問 栃木西部・会津南道路は、南会津町から栃木県日光市に至る延長60kmの区間ですが、整備を促進させるためには、地域高規格道路の指定を受けなければなりません。

整備を要望するためには期成同盟会を設立し、活動することが最良の手段と考えます。期成同盟会の設立は、

町長 本町と栃木県日光市で、平成30年10月9日、栃木西部・会津南道路整備促進期成同盟会を設立しました。

問 候補路線の指定を受けてから26年が経過しました。期成同盟会設立以前の活動は。

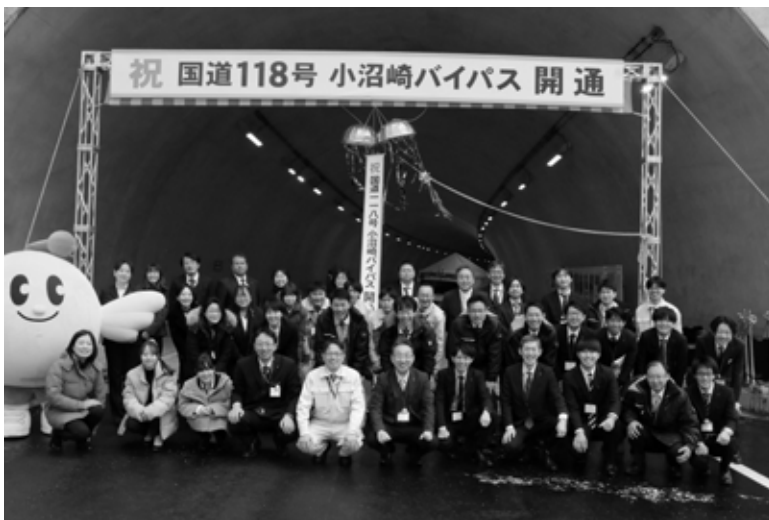
町長 山形県、福島県、栃木県、栃木県の関係団体で構成する国道121号改良促進期成同盟会で、国などの関係機関へ要望活動を実施してきました。

問 期成同盟会設立の経過は。

町長 日光から会津への地域間交流の取組みや、国道121号沿線住民の生活の向上、文化の発展に資することなど合わせ、平成27年発生の関東・東北豪雨が、栃木県北部に甚大な被害をもたらしたことから、防災、減災、国土強靱化のため、日光川治防災事業の整備促進や、道路改良の動きを加速させるため設立しました。

問 栃木西部・会津南道路整備に対する福島県の対応は。

町長 県では、会津縦貫南道路を構成する下郷田島バイパスなどの早期完成を目指しています。また、日光川治防災事業が国直轄代行事業で進められており、栃木県と連携して本路線整備のあり方を検討していきます。



今年3月3日に開通した会津縦貫南道路小沼崎バイパス（下郷大橋）整備が進む会津縦貫南道路と合わせて栃木西部・会津南道路の早期着工が待たれる。

令和6年5月16日に第2回臨時会が開催されました。町からは議案10件が提出され、慎重な審議の結果、全会一致で可決しました。

(掲載の質問と答弁は抽出・要約したものです。)

専決第5号

諸収入
令和5年南会津町一般会計補正予算
(農地中間管理機構受託事業収入)

湯田芳博議員

農地中間管理機構の受託事業の内容と補正における減額の理由は。

農林課長

農地中間管理機構の賃貸借に関わる事業で、会計年度任用職員の人件費、事務経費等の部分における収入金の確定によるものです。

民生費
令和5年南会津町一般会計補正予算
(結婚新生活支援事業補助金)

湯田芳博議員

結婚新生活支援事業補助金の減額の内容は。

総合政策課長

1組の申請しかなく、その分を経費とし、予算の残った部分を減額したものです。

民生費
令和5年南会津町一般会計補正予算
(価格高騰緊急支援給付金)

楠正次議員

価格高騰緊急支援給付金給付事業の減額理由は。

総合政策課長

給付の対象世帯を2000世帯として予算化していたが、執行にあたり実際の対象となった世帯が1816世帯となったため、その差額分の減額です。

4件の契約

議案第57号

【工事請負契約】

◆工事名

道路メンテナンス事業

業下山橋補修工事

◆請負金額

1億3856万4360円

◆契約の相手方

南総建株式会社

議案第58号

【工事請負契約】

◆工事名

社会資本整備総合交付金事業 町営住宅会下団地

1号棟改修建築主体工事

◆請負金額

5258万円

◆契約の相手方

株式会社大橋工務店

案件を可決

議案第59号

【物品購入契約】

◆契約の物件

除雪ドーザ2台

規格型式14t級車輪式 本体

コマツ製WA270-8Y

◆契約金額

6682万5千円

◆契約の相手方

コマツ福島株式会社津支店

議案第60号

【物品購入契約】

◆契約の物件

消防ポンプ自動車1台

◆契約金額

2530万円

◆契約の相手方

会津消防用品株式会社

議案第58号 工事請負契約について

楠正次議員

入札辞退が多いが、その理由は。

総務課長

辞退した業者は5社。そのうち自社の見積額では落札できないと判断したのが2社、手持ち工事量が多く履行できないと判断したのが1社、当該工期に配置できる技術者がいなかったとの理由が1社、今後受注したい工事があり、技術者を確保しておきたいとの理由による辞退が1社です。

議案第61号～議案第64号

固定資産評価審査委員会委員の選任

町長から、4人の選任案がそれぞれ提出され、審議の結果、全会一致で同意されました。

【固定資産評価審査委員会委員】

- おたけ 大竹 康男氏 (折橋)
- はがみ 芳賀美恵子氏 (福渡)
- やまうち 山内 敬氏 (小塩)
- さとう 佐藤 実氏 (大橋)

第75回 南会津地方町村議会議員大会

主 催 南会津地方町村議会議長会



ゆだ たけまさ
湯田 剛正 議員

ふるかわ あきら
古川 晃 議員

要 望 事 項

- ①一般国道289号(駒止峠)無散水融雪施設設置と一般国道352号(穴原~耻風間)の改良促進について
- ②「栃木西部・会津南道路」と「会津縦貫南道路」の一体的な整備促進について
- ③中山間地域における医療の充実と県立南会津病院の常勤医師確保について
- ④高齢者福祉にかかる支援について

令和6年7月9日
檜枝岐村「東雲館」にて南会津地方町村議会議員大会が開催されました。
この大会は、南会津郡内4町村の議員が一堂に会し、南会津地方の諸問題を共通の課題として解決していくことを目的に毎年開催されており、今回で75回目を数えます。
本町議会からは、湯田剛正議員と古川晃議員から4つの要望事項を提案し、満場一致で決議されました。
今後は国や県に対し、実現に向けた粘り強い要望活動が行われます。

南会津地方議員大会

議会広報委員会活動報告

令和6年7月2日

町村議会広報研修会

福島市とうほう・みんなの文化センターで開催された広報研修会に参加しました。



【講師】 芳野 まさあき 政明 氏



研修会の様子

研修は県町村議会議長会主催、昨年度より3議会多い44議会が参加して実施されました。
研修内容、前半は議会広報サポーター芳野政明氏による「議会の見える化&住民との信頼関係」をテーマに、議会広報の基本と編集について31項目におよぶ議会だより発行の意義・目的についてや、議会報の編集方針、企画、編集などについて学んできました。
後半は、同氏による5町村議会だよりのクリニックが実施されました。今回のクリニックに応募はできませんでしたが、各町村のクリニック結果は、今後の発行に活かせるアドバイスもあり、たいへん参考になりました。

「南会津町議会DX推進委員会」を設置

国による自治体DX推進計画などにより、地方自治体におけるデジタル社会の実現に向けた方針が示されています。

本町議会においても情報と業務プロセスをデジタル化し、議会運営や議会活動に浸透させることで、新たな価値の創出や利便性の向上を目指し、DXの推進に取り組む必要があります。

そこで^{※1}南会津町議会会議規則第70条の規定に基づき、議会運営委員会の^{※2}小委員会として「南会津町議会DX推進委員会」を設置しました。DXによって、本町議会の議会運営が良い方向に進むよう、活発な議論を重ねていきます。

用語

※1 「南会津町議会会議規則第70条」

委員会は、審査又は調査のため必要があると認めるときは、分科会又は小委員会を設けることができる。

※2 「小委員会」

議会の委員会のもとにおかれ、より専門性の高い議論を行う予備審査機関。

議会DX推進委員会

委員長 古川 晃

委員 湯田 哲

委員 星 和孝

委員 渡部 裕太

事務局 阿久津文稔



議会DX推進委員会

議会を傍聴してみませんか

議場ではどんな発言があるのか
どんな町づくりを考えているのか直接聞くことができます



館岩中学校生徒の皆さん



松沢小学校児童の皆さん

今回の定例会には館岩中学校生徒の皆さんと松沢小学校児童の皆さんが傍聴されました。定例会中の傍聴者は合計37名でした。

- 議会を傍聴する手続きは簡単です。
本庁3階の議場傍聴席入り口で氏名と住所を書くだけです。
- 会議の様子は、You Tubeでもご覧いただけます。
※スマートフォンをお持ちの方は、右記のQRコード読み取りから直接リンクにアクセスし視聴できます。

南会津町議会中継【YouTube】



次回は、9月12日(木)開会予定

【発行責任者】

南会津町議会議長 山内 政

【編集】議会広報委員会

委員長 室井 英雄

副委員長 渡部 裕太

委員 酒井 幸司

芳賀 正義

古川 晃

川島 進

はばたけ！ 南会津の子どもたち

田島第二小学校六年生

農業体験を取材

Q 今回、児童からの要望で田植え体験が実施されたと伺いました。その経緯と体験後の児童の反応を教えてください。

齋藤 里穂先生



学校で育てている
じゅうねんの前で
児童たちと

田島第二小学校第六学年の総合的な学習のテーマは「南会津の食といえど？」と聞いてみたところ、「しんごろう」が真っ先に出てきました。しんごろうは子どもたちにとつて、小さい頃から食べていたり、家でも作ることがあったりするくらい身近な食べ物ようです。そんなしんごろうを実際に作れたらと子どもたちとを考えていたときに、地域の方から田植え体験をしてみないかとお話をいただきました。

実際に田植えを体験してみると、手植えを通じて農業の大変さを実感したり、自動で田植えをすることができると驚いたりしました。田植え機の便利さに驚いたりしていました。五年生の社会科の授業で、農業の人手不足について学んだ子どもたちですが、「手作りの食材を使ってしんごろうを作る」という活動を通じて、農業への見方・考え方が変わり、食の大切さや郷土料理を守っていくという意識が高まっていくことを期待しています。

Q 農業に対するイメージは？

野中 柑花さん

色々な機械を使って、みんなで植えているイメージです。

渡部 開道さん

たくさんの人たちのために食材を作っているイメージです。

Q 田植え体験の感想を聞かせてください。

弓田 紫道さん

土がどろどろしていて大変でしたが、楽しかったです。

鈴木 蒼音さん

最初は足の感触が気持ち悪かったですが、途中から楽しくなりました。



汚れた靴下を洗濯

Q 体験後、農業に対するイメージは変わりましたか？

星 圭祐さん

親戚が農家で、大変だというイメージは変わりません。

湯田 叶夢さん

おじいちゃんが農業をやっている、世話などが大変そうだというイメージは変わりません。



じゅうねん苗定植

Q 「じゅうねん」の栽培も行っていらっしゃるようですが？

大竹 梓月さん

おばあちゃんが家で育てている、じゅうねんの収穫はやったことがあります。じゅうねんを種から育てることは初めてで楽しみです。

星 美織さん

種がとても小さくて、植えることが大変でした。苗を植えたときには、種があんなに小さかったのに、とても大きく育っていて驚きました。

Q 収穫に向けて、意気込みをどうぞ。

田口 榎乃さん

ゆうだい21が大きく育って、美味しいお米になってほしいです。美味しいしんごろうになりますように！

横山 琴美さん

美味しいお米を作って、みんなに美味しいと言ってもらえるように頑張ります。



苗を受け取る



田植え後のおにぎり

田島第二小学校の活動は、スマートフォンなどで下記のQRコードを読み取りご覧ください。

田島第二小学校 HP



写真 ©2024 田島第二小学校

【発行】福島県南会津町議会

【編集】議会広報委員会

【印刷】馬場印刷所

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲 3531-1 TEL: 0241-62-6310 FAX: 0241-62-1288

【ホームページ】<https://www.town.minamiaizu.lg.jp/official/choseijoho/minamiaizumachigikai/index.html>